

公表 事業所における自己評価総括表(放デイ)				
○事業所名	にじの丘			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	4人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者との関りが多く、一緒に遊ぶ時間や話を聞く時間を大切にしている。したい事や興味のある事を利用者から発信してくれる	用者との時間を大切に、流行りや興味のある事は、可能な範囲でかなえたいと思っている。利用者と一緒に流行りに興味を持てるよう努めている。	今後も利用者との話をする、触れ合う時間を大切にしてい
2	支援内容や一日の様子を記録と共に写真にして確認できるようにしている。	利用者の表情や一緒に遊んでいる友達の顔などを知ってもらう事で、保護者に安心感を持ってもらう。また、連絡帳でお知らせすることで、家での会話を増やしたり、利用者が家で話やすいようにしてい	詳細にこまめに情報を発信する。
3	個々に対して丁寧な関わりを持つことができて	こまめな体調や健康観察を行い、感染防止対策の徹底に努めている。	身体不自由児が活動等での場面において、様々な制限が軽減できるような工夫とコミュニケーション手段の取り組みを常に考えたい
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的支援の定期化	・理学療法士による支援のニーズが高いが、十分な時間の確保や定期的な支援に至っていない。	・専門人材の配置を行っていく為、有資格者の雇用を行っていく。
2	2人体制での送迎が厳しい	2人体制での送迎が出来るよう、職員等の準備が整っていない。	安全な送迎が出来るよう検討していく。
3	室内の環境調整の難しさ。	療育スペースの狭さや幼児用のトイレや手洗い場が設置できていないなど、構造上の課題がある	構造上の問題はすぐには解決が難しいため、空間をうまく使う工夫や補助の道具を使用して対応していく
4	話し合いの時間や研修の時間を取るのが大変。それに付け加え、全員そろっての話し合いとなると、中々職員が揃っての話し合いの日程を組むのが厳しい。	午前・午後と児童のお預かりがある為、常に子供たちがいて、話し合いの時間が取れない。	人材の確保や他店舗からのヘルプ等により、十分な話し合いや研修が行える様組み立てる必要がある。
5	他事業所との連携	相談員を通して必要な情報共有は行われているが、事業所同士が直接情報共有する場を作る事が時間的に困難	担当者会議などの時間調整に工夫が必要
6	地域交流	運動会や秋祭りを公共施設を借りてを行っているが、近隣を招いての活動を取り組むまではまだ難しい。	安全を考慮しながら、外部参加が出来る行事を検討中

